

あか 日本の紅をつくる町の夏

第23回白鷹紅花まつり／紅花 colors

しらかかの夏を彩るイベントとして恒例の「白鷹紅花まつり」が7月8日～9日の2日間、町内3会場をメイン会場に開催されました。毎年県内外から多くの人を訪れ、開催23回目を迎えた今年、残念ながら肝心な紅花は見ごろとはなりませんでしたが、地域の皆さんを中心としたさまざまなイベントと温かいおもてなしにより、あちこちで笑顔の花が咲きました。

また、夏至から数えて11日目、半夏生（はんげしょう）の7月2日からは「紅花 colors」がスタート。初日は、町産紅花の乱花や若菜を使用した紅ランチの発表会がパレス松風で行われ、やまがた舞子が会場に華を添えました。さらに、開催期間中には子どもから大人まで参加できる紅を使った貴重な体験が行われ、参加者は自らの手で「日本の紅（あか）」に触れました。

町中ではまだセミの鳴く声が響き渡っていますが、紅花の季節が終わり、「日本の紅（あか）をつくる町」の夏は今年も静かに過ぎていきました。

